

## 川崎市の訓練実施結果

訓練の目的	首都直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図ることを目的とする。
日時	令和5年9月2日（土）10:00～12:00（救援物資受入訓練） 令和5年9月3日（日）9:00～12:00
会場	1 川崎市立南菅中学校、特別養護老人ホーム生田まほろば 2 菅多目的広場 3 明治大学生田キャンパス
規模	参加機関（団体） 51機関 参加人員 900名
想定地震	川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3の地震、市内最大震度7
訓練項目	1 情報収集・道路啓開・緊急交通路確保訓練、救出救護訓練、一斉放水訓練 2 避難所運営訓練、避難所医療訓練、二次避難所移送訓練、区本部訓練 3 救援物資緊急輸送訓練 4 燃料補給訓練 5 災害ボランティアセンター運営訓練 6 ライフライン訓練 7 市民参加型訓練 8 啓発・展示

<p>訓練の特徴</p>	<p>今年度は、「大地震発生から数時間」「大地震発生から3, 4日」と、会場ごとに2つのフェーズに分けて市総合防災訓練を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「大地震発生から数時間」を想定した訓練 発災から数時間後の市街地において、市及び各防災関係機関が、相互に連携して、情報収集や道路啓開、救出救護訓練を実施</li> <li>2 「大地震発生から3, 4日」を想定した訓練 発災から3, 4日経った避難所を中心に、避難所運営訓練や医療・福祉関連の訓練を実施した。また、緊急物資輸送訓練や、燃料補給訓練を同じフェーズで実施</li> <li>3 市民参加型訓練 発災対応型訓練として、揺れ体験訓練、初期消火訓練、土のう作成チャレンジ、避難所運営訓練等を実施</li> <li>4 展示・啓発 南菅中学校において関連機関・企業の展示・啓発</li> </ol>
<p>参加機関</p>	<p><b>【行政機関】</b>  陸上自衛隊第31普通科連隊  神奈川県警察（危機管理対策課・第二機動隊・多摩警察署）  気象庁 横浜地方気象台  神奈川県福祉こどもみらい局地域福祉課  川崎市市民文化局  川崎市環境局  川崎市健康福祉局  川崎市まちづくり局  川崎市建設緑政局  川崎市上下水道局  川崎市消防局  川崎市消防局 多摩消防署  川崎市多摩区役所  川崎市立南菅中学校  川崎市危機管理本部</p> <p><b>【その他行政機関】</b>  多摩消防団  川崎市男女共同参画センター  川崎市国際交流センター</p> <p><b>【民間企業・団体等】</b>  一般社団法人神奈川県トラック協会川崎サービスセンター  赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部  神奈川県石油業協同組合川崎北支部  神奈川県LPガス協会川崎北支部  一般社団法人川崎建設業協会多摩特設作業隊</p>

<p>参加機関</p>	<p>株式会社 NTT 東日本一南関東川崎支店  東京ガスネットワーク株式会社（川崎支店、神奈川導管ネットワークセンター）  東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社  川崎市管工事業協同組合  多摩区訓練協力団体（専修生田ボランティア（SIV）、まごころキッチンプロジェクト、シエラ株式会社）  公益社団法人川崎市医師会  公益社団法人川崎市歯科医師会  公益社団法人川崎市看護協会  公益社団法人川崎市薬剤師会  公益社団法人神奈川県栄養士会  川崎市多摩区薬剤師会  公益社団法人神奈川県柔道整復師会  一般社団法人川崎市助産師会  川崎地区ケア輸送連絡会  社会福祉法人みずほ 特別養護老人ホーム 生田まほろば  日本赤十字神奈川県支部  聖マリアンナ医科大学病院  日本医科大学病院武蔵小杉病院  川崎市立多摩病院  社会福祉法人川崎市社会福祉協議会  社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 川崎市多摩区社会福祉協議会  公益財団法人かわさき市民活動センター  公益財団法人川崎市消防防災指導公舎  社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会 川崎市聴覚障害者情報文化センター  多摩区自主防災組織連絡協議会  南菅中学校避難所運営会議  <b>【九都县市広域応援協定自治体】</b>  埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市</p>
<p>協力機関</p>	<p>明治大学生田キャンパス</p>